

食品ロジスティクス研究会

21年度事前アンケートに 基づく考察と今後のテーマ

(株)ロジサイクル・デザイン
池田 篤彦

研究会メンバー各社概要シートの重点テーマ整理

各社の部門方針と課題より共通性の高いテーマを整理する。大きくは、『持続可能な物流構築』、『SCMによる需給機能の強化』、『物流コストの上昇抑止』の3つに集約される。

1

中長期的に持続可能なロジスティクスの構築
(食品プラットフォームの構築)

ホワイト物流の推進と業界連携の促進

- 新しい物流基準（ホワイト物流）に適応した物流環境の再整備
- リードタイムの延長・D+2配送の恒久実施
- 配送要件の見直し（待機時間・時間指定・ロット対応等）
- 新規物流事業者との取引拡大（選ばれる荷主）
- 一貫パレチゼーションの拡大・パレット回収の促進（物流標準化の促進）

環境変化に対応したサステナビリティ社会への取り組み

- リスクマネジメント・BCPの強化
- SDG s ESGへの取り組み強化
- 物流の2024年問題を見据えたサプライチェーン再構築
- 環境負荷（CO2）低減の取り組みとフードロス削減の推進

2

新たな技術を活用した需給コントロール機能の強化

SCMのレベルアップと事業活動に対する必要性の理解度向上

- AIを活用した需要予測～生販精度の向上と在庫の適正化
- エリア需給による計画精度の向上
- BSマネジメントの高度化_棚卸資産製品在庫水準の抑制
- 需要の変化に対応した生産、物流体制構築
- 「デジタル化」による各種SCMコストの見える化

ロジスティクス・SCM部門の機能強化

- 物流人材の確保・育成プログラムの構築（高齢化対応）
- 担当メンバーの改善・改革意識・コストパフォーマンス向上
- 新しい働き方（Neo Work Style)による業務の生産性の向上

3

物流コストの最適化・コスト上昇の抑止

物流構造見直しによる効率化、配送の清流化

- 在庫適正化、輸送費の最小化、物流拠点の最適化
- 物流機能の共同利用、異業種とのアライアンス含むネットワーク強化
- 物流コストの抑制に向けたルール・オペレーションの見直し
- 物流環境の変化に応じた料金契約体系の見直し
- 重軽混載輸送を利用したモーダルシフトの推進（W連結輸送・船舶輸送）

物流現場の負荷軽減
(自動化・省人化)

- 自動化とAI活用による物流改革
- 最新技術の収集と最適マテハン・新システムの導入
- オンライン受注推進・IT技術活用による受注業務効率化

事前アンケート：「今期に聞きたいテーマ」各社集約

各社から挙げられたテーマを幾つかの 카테고リーに分類。各カテゴリーごとの件数ボリュームを知覚して頂く知覚して頂くために、同類のワードも括らずそのまま列挙しています。

■ 従来からの継続的テーマ

I. ホワイト物流・物流事業者への対応

- 1 ホワイト物流への取り組み
- 2 ホワイト物流への他社対応
- 3 付帯作業の状況
- 4 納品先での付帯作業改善
- 5 過剰サービスの是正に向けた各社の取り組み
(最低納品ロットや納品リードタイム等)
- 6 運送業界における働き方改革の影響
- 7 物流改善のための料金設定方法工夫事例
- 8 物流効率化：Reduce Logistics Costs
- 9 3PL管理

II. 納品リードタイムの延長

- 1 D2関連
- 2 リードタイム延長の取り組み
- 3 配送LT延長の実施例
- 4 リードタイムの恒久的な変更
- 5 大手小売業、問屋における出荷許容期限
延長の状況
- 6 受注リードタイム延長に対する各社の対応

III. 物流標準化

- 1 各社の標準化に対する取り組み
- 2 物流の標準化
(基準設定、付帯作業、データ)
- 3 物流標準化(外装等)に対する
各社の対応
- 4 デザインフォーロジスティクス(DFL)
- 5 パレット導入・仕様状況と今後の展望
- 6 冷凍食品のカートンモジュール化と
パレット輸送
- 7 KPIによる標準業務化
- 8 共同配送の取り組み状況
- 9 共配、積載率UP
- 10 流通(卸)との物流効率化の取り組み

IV. 危機管理・環境変化への対応

- 1 異常気象時の物流、各社の対応方針
- 2 受注・物流BCPIに対する各社の対応
- 3 大型連休時(オリンピック期間含む)
の配送計画
- 4 2024年問題を想定した物流課題
- 5 「物流の2024年問題」による物流への影響

■ 将来を見据えたテーマ

V. サプライチェーン最適化

- 1 S&OPの各社取り組み事例
- 2 PSI管理全般
- 3 安全在庫率の考え方
- 4 各社生産計画における現状と
欠品・不動在庫への対策
- 5 Full-Order fulfillment
- 6 年度物流費(運賃+倉庫料)計画算出方法

VI. これからの物流(FutureLogistics)

- 1 新たな「総合物流施策大綱」と
施策の具体的取り組み
- 2 各社の中長期方針について
(5年~10年程度を見据えた方針)
- 3 日配系物流の将来
(配送・出荷人員・物流企業の確保)
- 4 配送体制の再構築
- 5 物流ネットワークの将来構想
- 6 物流過疎、過密エリアへの対応
- 7 各社輸配送網での課題
- 8 Setup future network
- 9 異業種とのアライアンス
- 10 各社の人材育成計画
- 11 物流テーマに対する情報技術の活用

VII. DX・AI・最新技術

- 1 AI、IoT等のデジタル技術活用事例等
- 2 DX関連
- 3 DX対応におけるSCMの課題
- 4 物流DXに関する各社の取り組み
- 5 DXの進め方
- 6 デジタル技術の活用
- 7 サプライチェーンのデジタル活用による変革
(DX)について
- 8 AIを活用した配送コース等の最適化
最適配車計画
- 9 AIロボット
- 10 自動化・省人化マテハンの導入状況
- 11 マテハンの最新情報

VIII. 環境対応・ESGへの取り組み

- 1 ESGに対応した業務構築
- 2 SDGsの取り組み
- 3 物流でのSDGs
- 4 モーダルシフトやSDGs関連の物流の取組み
- 5 廃棄削減への対応
- 7 廃棄ロス低減に向けた取り組み
- 8 環境対策
- 9 CO2等物流領域における環境対応について
- 10 CO2削減取り組み状況(未来のリユース)
- 11 Reduce Plastic / CO2